

2019年 12月 主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 学芸会后片付け (5,6年)	3 SC	4 委員会活動 読みきかせ	5	6 マラソン前健康相談 (13:30~)	7 学年レク (5年)
8	9 マラソン集会	10 連合音楽会(5,6年) 発育測定(低)	11 発育測定(中)	12 発育測定(高) 避難訓練  3年生5時間授業 (他学年は 4時間授業)	13 百人一首タイム	14 大島一周 「歩け!歩 け!」
15 大島一周 (予備日)	16 全校朝会	17	18 クラブ活動 魚ふれあい体験(5,6年) PTA臨時総会 SC	19 ユニセフ集会	20 百人一首タイム	21
22	23 保健安全朝会	24 給食終了 SC	25 終業式 大掃除 SC	26 冬季休業日始 (~1月7日)	27	28
29	30	31	1	2	3	4

1月の主予定

- 8日(水) 始業式r(午前授業)
- 9日(木) 全学年5時間授業
- 10日(金) 全学年5時間授業
- 15日(水) 百人一首大会  
全学年5時間授業
- 16日(木) 全学年5時間授業
- 17日(金) 連合作品展(~21日)
- 18日(土) 道徳地区公開講座(登校日)
- 20日(月)~24日(金)  
三中部活動見学週間(6年)
- 21日(火) マラソン大会
- 22日(水) 給食試食会・卒業前保護者会(6年)





# はてな なき海へ



令和元年11月29日(金)  
大島町立つつじ小学校  
☎ 04992-4-0184  
校長 田代紳一郎

## 研究報告会を終えて

校長 田代 紳一郎

本校は平成30・31年度の2か年にわたり、東京都教育委員会のプログラミング教育推進校に指定され、研究を進めて参りました。去る10月31日、研究授業及び報告会を公開し、その研究の一端をお示しすることができました。プログラミング教育については、全国の小学校で2020年完全実施の新学習指導要領から導入される教育内容ですが、先行研究はわずかなため、ゼロベースでのスタートでした。まずは学習指導要領の文言をしっかりと読み解き、プログラミング的思考の定義づけをるところから着手しました。そこから導き出したのは、具体的思考から抽象的思考にわたる3つの思考過程であり、本校の研究の根幹をなすものです。そして、どの学年の、どの教科・領域で、その思考過程を生かした授業を展開できるのかを模索しました。まさに、授業開発の力が試されていることを実感するものでした。研究授業を通して、常に理論と実践を行き来しながら、プログラミング的思考を働かせる場面を浮き彫りにすることで、少しずつではありますが、授業開発の視点をもてるようになってきたのは大きな成果です。

ところで、プログラミング教育とは何か。まず皆さんが真っ先にもたれるイメージはどのようなものでしょうか。コンピュータを動かすためのプログラミング言語を学ぶことなの？ アプリを作成する力を身に付けるの？ ロボットを組み立てて動かすことができる能力を身に付けること？ おそらくこのようなイメージをお持ちではないかと思います。工学系の高校、専門学校、大学等ではそのようなレベルまで要求されるかもしれませんが、小学校のプログラミング教育では、コーディングと呼ばれるプログラミング言語を用いた記述方法に触れることが目的ではありません。重要視されているのは、コンピュータのおおよその仕組みを理解させるとともに、よりよい課題解決のための方法を考えることができるようにプログラミング的思考を養うことなのです。

自分が意図する一連の活動を実現するためには、①どのような動きの組み合わせが必要か？ ②一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか？ ③記号の組み合わせをどのように改善すれば、より意図した活動に近づくのか？ といったことを論理的に考えていく力、すなわち、㊶物事を**抽象化**して捉える能力 ㊷物事を**分解**して理解する能力 ㊸やるべきことを**順序立てて**考える能力 ㊹ベストな方法かどうかを分析する能力 ㊺方法を他に置き換えて一般化する能力 を育むことが主なねらいです。

実際の授業ではコンピュータを使う授業と使わない授業に大別されます。これまでの授業実践の例として、人感センサーや光センサーを搭載したおもちゃの自動車づくりを通して技術者の苦勞を学ぶ(社会科)、和音配列の変換による作曲を楽しむ(音楽科)などの授業を開発しました。

目指すべきは、AI 技術の進展に伴う先行き不透明な将来に向けて、子供たちが創造豊かに活動するための思考法の一つとして論理的思考力を養うことです。そのために本校では、次年度からの本格実施に向けて、さらに綿密な指導計画を練っていき、充実したプログラミング教育を進めていきたいと考えています。

## ～6年生の紹介～

最近の6年生の姿を見ていると、「心も体も大きく成長したな」と思います。校内水泳記録会や運動会、そして学芸会練習の中でもそうした姿がたくさん見られました。新たなメンバーが加わり、毎日仲良く、元気よく過ごしています。



# 学芸会

今年も学芸会の季節がやってきました。つつじホールからは、めあてに向かって一生懸命に努力をする子ども達の大きな声が響いてきます。子ども達は、「できたこと」「うまくいかないこと」そして、その時に感じた「喜び」や「不安」などの気持ちを受け止めながら日々成長を続けています。それと同時に、異学年での「集団」として意識が高まり、仲間との絆を強くしています。この学芸会を通して、努力してできるようになった喜びや仲間とともに一つのものを創りあげるといった喜びを味わい、大きな達成感が得られることを願います。

保護者や地域のみなさまには、子ども達の晴れ舞台をご覧いただき、大きなご声援をお願いします。

学芸会担当 田中 久美子



学芸会にむけて

A vertical green banner with the text '学芸会にむけて' (Towards the Cultural Festival) written vertically in white. The banner is decorated with yellow starburst patterns at the top and bottom. At the bottom, there is a colorful illustration of children and a tree.

